

とやま労福協

■発行所／(一社)富山県労働者福祉事業協会 〒930-0857 富山市奥田新町8番1号 TEL076-431-0539 FAX076-431-0510 ■発行責任者／藤井光行・編集者／泉 彩子

2025年度(令和7年度)予算要請書を富山県知事へ提出

2025年1月29日(水)15時から富山県庁知事応接室において「富山県知事と労働福祉事業団体との意見交換会」を開催した。富山県から新田知事、山室商工労働部長、今井商工労働部次長、赤崎労働政策課長が出席し、労働福祉事業団体から浜守理事長はじめ5名が出席した。

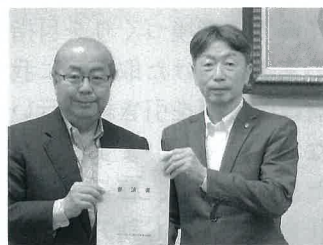
まずはじめに、浜守理事長から新田知事へ2025年度労働者福祉施策に関する予算要請書を手交した。

浜守理事長から「日頃は県におかれましては当協会の勤労者の福祉向上、健康増進に格別のご理解とご支援を賜り御礼申し上げます。新田知事におかれましては、ウェルビーイングの向上を中心に捉えた富山県成長戦略を掲げ推進をされ、県民が真の幸せを追求し、多様な人材が生き生きと自分らしく暮らし、富山県に魅力を感じる多くの方がこの富山に集い、そして共に発展していくことを目指して日々奮闘されていることに敬意を表します。さて、北陸の経済動向を見ると能登半島地震の影響は若干残るものの復旧、復興の需要や北陸新幹線敦賀延伸の効果がみられることから緩やかに持ち直していると理解しております。ただ、産業界においては物価の高騰等様々なコスト高が企業経営を圧迫している状況であります。また物価高騰による支出の増加は県民生活にも大きな不安をもたらしております。本年も当協会は、勤労者福祉の推進と向上について、富山県、地方自治体、関係団体の皆様のご支援を頂きながら全力で取り組みを進めてまいりたいと考えております。今日、地域ライフサポート支援事業、生活改善サポート事業等の推進と充実に向け、新田知事に要請書をお渡ししました。私達の思いをご理解頂き、昨年同様のご検討をと思います。」と挨拶した。

続いて藤井専務理事より各団体役員出席者の紹介後、予算要請書について説明を行った。

次に新田知事から「日頃から労働者福祉の向上、富山県政へのご協力に心から感謝申し上げます。能登半島地震に際しては県への義援金のご協力や各種支援活動にも取り組んでいただきました。また、北陸労働金庫さんにおかれましては、県の被災者支援パッケージの1つとして災害復旧資金の貸付にご協力頂き心からお礼を申し上げます。県としても震災からの復旧復興に市町村と一丸となって最優先で取り組んでまいりました。また、本県の活力を支えて将来の発展の礎となる未来を作る人づくり、また人口減少下であっても地域社会の維持を進展させ、県民1人1人豊かな暮らしを実現するため不可欠と考えます、新しい社会経済の構築。この2本柱で取り組んでまいります。本日まで説明頂いた各団体のご要請について、各団体の取り組んでおられる労働者福祉政策については働く方を含め県民1人1人のウェルビーイングの向上につながっているものと思います。働く皆さんのウェルビーイングが高まることは生産性を高め、創造力も大いに高めると言われております。そうなれば、働かれる企業も元気になり、賃上げが実施されそれが消費にまわるという良い循環を作り出す基になると考えております。予算編成へ前向きに検討してまいります。」と回答を受けた。

その後、労働福祉事業団体代表者(北陸労働金庫・こくみん共済coop富山推進部・富山県勤労者信用基金協会・春日温泉観光開発(株))からの活動報告と意見交換を行った。



2025年度(令和7年度)予算要請書を富山市長へ提出



2025年1月24日(金)13時30からホテルグランテラス富山にて「富山市長と労働福祉事業団体との新春懇談会」を開催した。

まず、藤井専務から日頃の当協会の事業活動へのご理解、ご支援に対し御礼を伝え、また富山市の近代化に向けたまちづくり、コンパクトシティ政策の深化として取組み、スマートシティの既存事業を基本に富山市スマートシティ推進ビジョンを策定され、さらには子育て世代が暮らしやすい街づくりに向けての取組み推進に対して敬意を表した。本日は改めて2025年度の予算要請において労働福祉政策の向上に向け昨年同様のご検討を頂きたいと挨拶した。その後、予算要請書を手交した。



続いて、藤井専務理事より出席者の紹介と労働福祉政策の予算要請について説明を行った。

要請を受け藤井市長から「日頃から勤労者の社会的地位向上や幅広い分野に活発に展開されていることに敬意を表すると共に要請に感謝申し上げます。不確実要素の沢山ある不安定な環境の中、「つながる・寄り添う・支え合う」を運営の軸にし、連合富山、福祉事業団体と共にすべての勤労者の生活向上と安定、また将来に夢と希望を持てる環境づくりを目指し活動されている事に誠に心強い限りです。富山市として労働者福祉の増進、賃上げの実現に向けた取組みに我々も後押しします。そのために職場環境においては、働きやすい環境を整えるための財政的支援を引き続き行い、多様な人材活躍を推進するため一人親家庭や、障害者の雇用に対する奨励金の支給などを行っています。また、市内企業の人材確保を支援するため合同企業説明会の開催、県内外の大学と連携した富山で働く、暮らす、魅力を紹介する講義、イベントの実施等、様々な施策に総合的に取り組んでいます。預託金についても勤労者の生活と福祉向上に必要と考えています。今後とも県や国、労働関係団体の皆さんと連携を図りながら、勤労者の安定した雇用と誰もが働きやすい環境作りを推進していく所存です。」と回答を受けた。その後、労働福祉団体との意見交換を行った。



北陸ろうきん

〈ろうきん〉

●実施期間

2025.2/1④～

2026.1/31④

フレッシャーズ★応援パック

期間中に下記のお取引をご契約された方に

最大! 現金 3,000円 プレゼント!

給与振込

3万円以上の新規ご指定で

もれなく 現金1,500円

+

ろうきんアプリ + ろうきんダイレクト※

■上記のサービスを全て利用登録された方

もれなく 現金1,500円



●対象
30歳以下の
社会人の方

お問い合わせは
コチラから



※「ろうきんダイレクト」は、利用登録後、ログインされた方が対象となります。●進呈方法について⇒特典金額の算定基準日は実施期間終了日とし、特典は給与振込指定口座、またはダイレクト・アプリ登録口座へ2026年3月末に振込を行う予定です。

こくみん共済 NEWS

「もしも」に備え「もしも」を防ぎ
「もしも」に向き合う。



公式キャラクター
ビットくん

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

富山県ライフサポート事業報告

親子でドライブ・イン・シアター&フードドライブ2024

2024年10月15日（火）18時30からテクノホール西館駐車場にて「親子でドライブ・イン・シアター 2024」&フードドライブを富山県勤労者互助会と共催で開催した。

コロナ禍による三密を避け、親子で楽しめる企画をと始まった催しだが、毎年多くの親子連れの参加があり、フードドライブの協力も見込めることから今年も開催した。

参加台数は78台でおよそ200名が車内で上映作品「FLY！/フライ！」を楽しんだ。今年も児童養護施設「ルンビニ園」の子供たちを招待し、生徒10名、先生2名の参加があった。後日、来場できなかった子供たちのためにお菓子を届けた。ちょうどハロウィンでとても有難いと感謝され、ドライブ・イン・シアターも喜んでいたとの感想が聞けた。

また、フードドライブに賛同された方々から118品目・150品（段ボール2箱分）の食品が集まった。ドライブには「～運動」という意味があり、フードドライブとは家庭で余っている食品を持ち寄りそれらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンク等に寄付する運動である。フードバンクとやまに相談後、今回は富山県母子寡婦福祉連合会へ届けた。物価高騰の影響もあり困っている方が多くいらしゃるとのことで、大変感謝された。



教育費負担軽減・奨学金制度改善セミナー

2024年12月18日（水）15時15分からゴルフファートとやま 4階「瑠璃の間」にて「学費と奨学金問題の現状と課題～今、私たちができること」と題し、教育費負担軽減・奨学金制度改善セミナーが行われた。21名の参加があり、講師には第1部に奨学金問題対策全国会議事務局長で弁護士の岩重佳治氏、第2部に（一財）富山県勤労者信用基金協会の分部隆専務理事をお招きした。

はじめに、岩重氏より学費と奨学金の現状について話があり、たくさんの問題点を提起された。問題に対してどう対策をとるか話され、「解決策はあるので困ったらまずは相談して欲しい。また、今、私たちにできることを知り、声を上げて行って欲しい」と話された。

次に分部専務理事より、2025年度から行う「奨学金事業」の取り組みについて説明があった。

【高等教育の負担軽減に向けての中央労福協の取り組み】

1. 授業料を半額に
2. 大学等修学支援制度の拡充を
3. 奨学金返済の負担軽減を

この3つの要望の団体賛同・個人署名活動。個人署名については現在も取組み中。



第45回親子スキー・スノーボードの集い



第45回親子スキー・スノーボードの集いが2025年1月18日（土）（第1回）、2025年2月1日（土）（第2回）、あわすのスキー場にて開催された。両日とも天候に恵まれ、第1回では172名、第2回では167名の参加あった。

開会式では藤井専務理事の挨拶、インストラクターから注意事項の説明があった。終了後、参加者はそれぞれのスクールごとに分かれ、ケガの無いよう準備体操をし、注意点等について聞いていた。その後はレベルに合わせたグレンデに移動し、インストラクターの指示のもとスキー・スノーボードを楽しんでいた。好天に恵まれたこともあり、どの方も気持ち良さそうに滑走している姿が見られた。昼食はお弁当を配布した。青空の下でお弁当を楽しむ親子もいた。

閉会後も、リフト稼働時間ギリギリまで滑走を楽しむ親子連れの姿がたくさん見受けられ、技術力も上がり皆さん思い思いに滑走されていた。「楽しかった」「また来年も来ます」と感想が聞けスタッフも温かい気持ちで終了することができた。



第62回福祉講演会



2024年10月18日（金）15時30分から第62回福祉講演会がボルファートとやま 4階「琥珀の間」で行われ、講師に元KNBアナウンサーで現在フリーアナウンサーの木下一哉氏をお迎えした。「富山ちゃんちゅ おもしろいげ」の題目で、富山県退職者連合の会員等、80名の参加があり、写真撮影にも積極的に応じて下さり和気あいあいな雰囲気のなか、アナウンサーや放送業界で使われる言葉についてや、シニア世代から若い世代に向けたコミュニケーションのあり方等、自分の経験を踏まえてお話しされた。木下氏の軽快なトークで時間を感じさせずあっという間の1時間だった。



2025健康づくりセミナー



2025年1月22日（水）13時からボルファートとやま 4階「翡翠の間」にて「2025健康づくりセミナーを開催した。13名の参加があった。今年は「とやま健幸応援プロジェクト 健康づくり研修支援事業」から富山県国際健康プラザ、健康運動指導士の三浦航兵先生を講師としてお迎えした。「仕事の合間にできる簡単エクササイズ」をテーマに椅子に座りながら簡単に腹筋、背筋を伸ばし、肩こり解消や姿勢が整うストレッチ等を提案され実践した。「なるべく簡単に行えるものを選んできたので継続して行ってください。」との助言があった。1時間程度の活動ではあったが、早速体がポカポカしてきたとの感想が聞かれた。

